



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 株式会社牧野フライス製作所 上場取引所 東
 コード番号 6135 URL http://www.makino.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 真一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 永野 敏之 (TEL) 046-284-1439
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日 配当支払開始予定日 平成30年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	91,709	22.0	8,129	188.0	8,834	143.3	6,615	139.4
30年3月期第2四半期	75,161	16.4	2,823	32.1	3,631	149.0	2,763	210.5

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 5,214百万円(△24.7%) 30年3月期第2四半期 6,924百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	267.12	—
30年3月期第2四半期	125.54	111.00

※ 平成30年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	272,854	155,351	56.6
30年3月期	268,382	152,519	56.5

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 154,546百万円 30年3月期 151,723百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
31年3月期	—	9.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	45.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 平成30年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、平成31年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「—」として記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	4.7	17,600	17.2	18,300	16.2	14,900	27.4	603.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 平成30年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、当連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	24,893,841株	30年3月期	24,893,841株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	221,525株	30年3月期	1,996株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	24,766,414株	30年3月期2Q	22,009,375株

※ 平成30年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来予測情報の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(株式併合後の業績予想について)

当社は、平成30年6月21日開催の第79回定時株主総会において、株式併合について可決を受け、平成30年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合と考慮する場合の平成31年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりです。

(1) 平成31年3月期の配当予想(1株当たり配当金)

	株式併合を考慮しない場合	株式併合を考慮する場合
第2四半期末	9円(注)	45円
期末(予想)	9円	45円

(注) 第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に応じて支払われます。

(2) 平成31年3月期の連結業績予想(1株当たり当期純利益)

	株式併合を考慮しない場合	株式併合を考慮する場合
通期	120円78銭	603円92銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間における業績は、売上高917億9百万円(前年同期比22.0%増)、営業利益81億29百万円、経常利益88億34百万円、純利益66億15百万円となりました。

上期の連結受注は1,139億8百万円(前年同期比16.7%増)となりました。中国とアメリカにおいて前年同期比で好調に推移したことに加え、国内においても増加しました。

下期は、米中貿易摩擦による影響を慎重にみております。

通期では前年度を上回り、高水準の受注を継続する見通しです。

第2四半期における報告セグメント別の受注状況は以下のとおりです。

(当社報告セグメントはグループの販売体制をもとに構成しています。詳細については9ページを参照ください)

セグメントⅠ(「個別」および国内連結子会社)

第2四半期は前年同期を上回りました。

ロボットの部品加工向けの好調が継続したことに加え、自動車の部品加工向けにまとまった受注がありました。

下期は、上期に引き続き自動車向けの案件を中心に取り込み、受注獲得に努めます。

通期では前年度を上回る見通しです。

セグメントⅡ(MAKINO ASIA PTE LTD)

第2四半期は前年同期を上回りました。

中国では、スマートフォンの金型向けが堅調に推移しました。自動車の金型、部品加工向けも増加しました。

インドでは、自動車の部品加工向けの好調が継続したことで増加しました。

下期は、中国、インドともに自動車向けを中心に、好調が続くとみています。

通期では前年度を上回る見通しです。

現時点で、米中の貿易摩擦による大きな影響はありません。

セグメントⅢ(MAKINO INC.)

第2四半期は前年同期を上回りました。

航空機向けの受注がけん引しました。下期に計画していた案件が、上期に前倒しとなったためです。

ジョブショップを中心とした自動車と、医療の部品加工向け受注が好調に推移しました。

下期は、引き続き自動車や航空機の部品加工向け受注の獲得に努めます。

通期では前年度並みとなる見通しです。

セグメントⅣ(MAKINO Europe GmbH)

第2四半期は前年同期を下回りました。

航空機と自動車向けで、まとまった案件の受注が下期にずれ込んだことによります。これを除いたヨーロッパの受注動向に大きな変化はありません。

下期は、ずれ込んだ案件に加え、航空機や一般機械、自動車の部品加工向け受注を獲得します。

通期では前年度並みとなる見通しです。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ44億72百万円増加し、2,728億54百万円となりました。主な増減としては、棚卸資産97億75百万円の増加、受取手形及び売掛金70億36百万円の減少、投資有価証券43億78百万円の減少などが挙げられます。

負債につきましては、1年内返済長期借入金51億17百万円の減少、社債50億円の増加、短期借入金44億68百万円の増加などにより、前連結会計年度末に比べ16億40百万円増加し、1,175億2百万円となりました。

また、純資産につきましては、利益剰余金52億35百万円の増加、その他有価証券評価差額金30億47百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ28億31百万円増加し、1,553億51百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、前回公表値（平成30年7月31日公表）を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,175	55,388
受取手形及び売掛金	51,134	44,098
有価証券	38	40
商品及び製品	16,656	21,472
仕掛品	14,822	15,317
原材料及び貯蔵品	27,633	32,098
その他	7,492	5,859
貸倒引当金	△757	△716
流動資産合計	167,196	173,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	30,740	31,974
機械装置及び運搬具(純額)	6,400	7,697
工具、器具及び備品(純額)	4,171	4,808
土地	17,769	17,806
リース資産(純額)	1,031	955
建設仮勘定	3,742	2,343
有形固定資産合計	63,855	65,586
無形固定資産		
その他	3,550	3,798
無形固定資産合計	3,550	3,798
投資その他の資産		
投資有価証券	27,544	23,166
長期貸付金	366	377
繰延税金資産	3,392	3,674
退職給付に係る資産	201	194
その他	2,663	2,870
貸倒引当金	△388	△371
投資その他の資産合計	33,779	29,911
固定資産合計	101,185	99,296
資産合計	268,382	272,854

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,849	14,789
電子記録債務	19,613	19,913
短期借入金	1,196	5,664
1年内返済予定の長期借入金	11,256	6,138
リース債務	249	220
未払法人税等	3,085	3,013
その他	26,188	26,073
流動負債合計	77,438	75,814
固定負債		
社債	5,000	10,000
長期借入金	20,687	20,672
リース債務	975	904
繰延税金負債	6,217	4,979
役員退職慰労引当金	89	94
退職給付に係る負債	4,250	3,755
その他	1,202	1,282
固定負債合計	38,423	41,688
負債合計	115,862	117,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,142	21,142
資本剰余金	37,070	37,070
利益剰余金	81,292	86,527
自己株式	△6	△1,006
株主資本合計	139,499	143,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,583	12,535
為替換算調整勘定	△616	1,030
退職給付に係る調整累計額	△2,743	△2,755
その他の包括利益累計額合計	12,224	10,811
非支配株主持分	796	805
純資産合計	152,519	155,351
負債純資産合計	268,382	272,854

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	75,161	91,709
売上原価	53,003	62,950
売上総利益	22,158	28,758
販売費及び一般管理費	19,335	20,628
営業利益	2,823	8,129
営業外収益		
受取利息及び配当金	326	447
受取賃貸料	119	131
為替差益	322	253
その他	238	198
営業外収益合計	1,007	1,030
営業外費用		
支払利息	160	155
その他	38	169
営業外費用合計	199	325
経常利益	3,631	8,834
特別利益		
固定資産売却益	24	144
投資有価証券売却益	41	52
特別利益合計	66	196
特別損失		
固定資産除却損	5	21
特別損失合計	5	21
税金等調整前四半期純利益	3,692	9,009
法人税等	914	2,381
四半期純利益	2,777	6,628
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,763	6,615

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	2,777	6,628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,542	△3,048
為替換算調整勘定	1,387	1,647
退職給付に係る調整額	217	△11
その他の包括利益合計	4,147	△1,413
四半期包括利益	6,924	5,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,909	5,202
非支配株主に係る四半期包括利益	15	12

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,692	9,009
減価償却費	2,785	2,751
貸倒引当金の増減額(△は減少)	65	△93
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7	5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	60	△466
受取利息及び受取配当金	△326	△447
支払利息	160	155
為替差損益(△は益)	△1	△17
投資有価証券売却損益(△は益)	△41	△52
有形固定資産売却損益(△は益)	△24	△144
有形固定資産除却損	5	21
売上債権の増減額(△は増加)	6,610	8,656
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,536	△8,129
仕入債務の増減額(△は減少)	763	△2,335
その他	660	1,267
小計	4,882	10,180
利息及び配当金の受取額	324	444
利息の支払額	△158	△150
法人税等の支払額	△435	△2,532
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,612	7,942
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	150	-
有形固定資産の取得による支出	△3,593	△4,560
有形固定資産の売却による収入	160	346
投資有価証券の取得による支出	△2	△3
投資有価証券の売却による収入	55	86
その他	△697	△719
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,927	△4,850
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,935	4,290
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△166	△160
長期借入金の返済による支出	△1,982	△5,157
社債の発行による収入	-	5,000
自己株式の取得による支出	△1	△1,000
配当金の支払額	△879	△1,119
非支配株主への配当金の支払額	△4	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	901	1,850
現金及び現金同等物に係る換算差額	618	271
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,204	5,213
現金及び現金同等物の期首残高	51,128	49,785
現金及び現金同等物の四半期末残高	53,332	54,998

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年6月8日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得のための市場買付を実施いたしました。なお当該自己株式の取得は、平成30年6月19日(約定ベース)までの買付をもって、終了しております。

1. 取得した株式の種類： 普通株式
2. 取得した株式の数： 1,097,000株
3. 株式取得価額の総額： 999百万円
4. 自己株式取得の期間： 平成30年6月11日～平成30年6月19日(約定ベース)
5. 取得方法： 東京証券取引所における市場買付

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「顧客との契約から生じる収益」(IFRS第15号)

一部の在外連結子会社において「顧客との契約から生じる収益」(IFRS第15号)を第1四半期連結会計期間より適用しております。この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの主な事業は工作機械の製造販売であります。製造は日本、アジアで行っており、販売は海外の重要拠点に子会社を展開して、グローバルな販売活動を行っております。従いまして、当社グループは下記Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの販売体制を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。

報告セグメントⅠ. は牧野フライス製作所が担当するセグメントであり、主たる地域は日本、韓国、中国、大洋州、ロシア、ノルウェイ、イギリス及びセグメントⅡ、Ⅲ、Ⅳに含まれないすべての地域です。さらに、国内関係子会社を含んでおります。

報告セグメントⅡ. はMAKINO ASIA PTE LTD(シンガポール)が担当するセグメントであり、主たる地域は中国、ASEAN諸国、インドです。

報告セグメントⅢ. は、MAKINO INC.(アメリカ)が担当しているセグメントで、南北アメリカのすべての国です。

報告セグメントⅣ. は、MAKINO Europe GmbH(ドイツ)が担当するセグメントであり、ヨーロッパ大陸(ノルウェイを除く)のすべての国です。

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	I (百万円)	II (百万円)	III (百万円)	IV (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	22,282	25,527	21,279	6,072	75,161
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,521	4,581	368	22	32,493
計	49,803	30,108	21,648	6,095	107,655
セグメント利益又は損失 (△)	1,944	2,388	△109	△724	3,497

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	3,497
未実現利益の消去他	△674
四半期連結損益計算書の営業利益	2,823

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	I (百万円)	II (百万円)	III (百万円)	IV (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	28,274	30,222	24,918	8,293	91,709
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	34,635	4,954	186	8	39,784
計	62,909	35,177	25,105	8,301	131,493
セグメント利益又は損失 (△)	6,058	3,114	548	△541	9,179

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	9,179
未実現利益の消去他	△1,049
四半期連結損益計算書の営業利益	8,129

3. 補足情報

受注及び販売の状況

1. 受注の状況

受注高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 自 平成30年 4月 1日 至 平成30年 9月 30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	33,509	29.4	+15.6
II	36,904	32.4	+22.3
III	33,762	29.6	+13.9
IV	9,730	8.6	+10.6
合計	113,908	100.0	+16.7

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

受注残高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間末 平成30年 9月 30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	31,936	36.4	+29.0
II	17,582	20.0	+29.6
III	25,336	28.9	+11.6
IV	12,937	14.7	+21.8
合計	87,793	100.0	+22.5

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

2. 販売の状況

販売実績

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 自 平成30年 4月 1日 至 平成30年 9月 30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	28,274	30.8	+26.9
II	30,222	33.0	+18.4
III	24,918	27.2	+17.1
IV	8,293	9.0	+36.6
合計	91,709	100.0	+22.0

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。